

11月30日は「絵本の日」～絵本は人と人をつなぐ～

およそ30年間集めていた815冊もの絵本を東日本大震災で失った長谷川さんは、避難所で出会った友人をきっかけに世界中から届けられた絵本を集め、「うみべの文庫」という名の絵本図書館を開きました。

11月にはうみべの文庫が3周年、ふれあいエスプ塩竈が18周年を迎えるということで一緒に何か楽しいことをしたいとの思いから『シオモ絵本まつり』を開催します。その副実行委員長でもある長谷川さんは「絵本は人と人をつなぐでくれるもの。今回の絵本まつりも絵本によってできた人のご縁で開催できることに感謝しつつ、本を愛する人のまつりにしていきたい」と話してくれました。

絵本図書館やイベントを通じて、本と触れ合ってみてはいかがでしょうか。

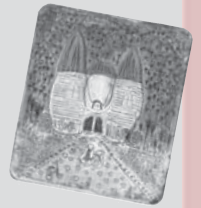


▲うみべの文庫で読み聞かせをする長谷川さん

- ◆賢治講話「銀河鉄道の夜」と塩竈
とき 11月28日(土) 14:00～15:00 (要申込)
- ◆本の森からいただきます！
「賢治のアイスクリームをつくろう」
とき 11月28日(土) 10:30～12:00
- ◆ビブリアTeaTime (要申込)
とき ①絵本 11月21日(土) 11:00～
②宮澤賢治 29日(日) 15:00～

問 ふれあいエスプ塩竈 ☎367-2010

シオモ絵本まつり



◆司修×宮澤賢治
「注文の多い料理店」
版画展
とき 11月17日(火)
～29日(日)

◆司修トークショー「絵本と賢治」
とき 11月22日(日) 14:30～
申込 11月3日(火)～

◆独楽職人がやってくる！
～独楽を作ってみよう～
とき 11月21日(土)
①10:00～ ②11:00～ ③13:00～

◆木工学校～糸のご体験～
「賢治童話の動物をつくろう」
とき 11月22日(日) 10:30～12:30

◆Domenica特別編
「賢治を歌おう」
とき 11月22日(日) 13:00～13:45

景観コラム 『景観十年、風景百年、風土千年』

文明開化の夢漂う「塩竈の都市景観」

本塩釜駅周辺の海岸通は、かつて「開港場」と呼ばれていたことをご存じですか。本市は江戸時代、四代藩主伊達綱村の恩典で賑わいましたが、明治維新で藩の保護を失い、次第に寂れていきました。

そこで、戸長(村長)の菊地雄治やまちの有志が村民を説き、寄付金6,000円と家ごとに延べ17人の労働奉仕を決め、明治15年(1882年)、国の補助を受けて築港工事が始まりました。明治18年(1885年)、現在の本塩釜駅付近を埋め立て、南・北延長550mの築堤が完成し、近代港湾に向けて第一歩を踏み出しました。さらに、明治19年(1886年)、東北本線の敷設資材運搬のため、南築堤の背後を埋め立てて鉄道が敷設され、明治20年(1887年)に東北初の鉄道として上野～塩竈間が開通しました。

当時の人々が「開港場」と呼んで夢見た国際貿易港は、大正から戦後の築港工事を経て発展しました。現在、復興に向けて海岸通の再開事業が進められています。新たな都市景観をみんなで創っていきましょう。

【参考文献】塩竈市史本篇Ⅱ、別篇Ⅱ、塩竈の歴史



▲明治時代「開港場」と呼ばれた海岸通周辺



▲現在(本塩釜駅東側からの眺望)

問 都市計画課まちづくり推進係 ☎364-2510

防災行政無線で放送された内容を再確認したいときは、自動音声で放送内容を聞くことができます。

防災行政無線確認電話 ☎364-1260



エフエムベイエリア (FM78.1Mhz) でも防災行政無線の内容や防災情報を放送していますので、災害時にはラジオを活用ください。

【塩竈市の人口】 H27.9.30現在

住民基本台帳調べ (前月比)
人口 55,632人(+ 3人)
男 26,553人(0人)
女 29,079人(+ 3人)
世帯数 23,027戸(+ 24戸)